

打ち合わせ確認欄		
総括監督員	主任監督員	監督員

島根県土木工事仕様書

契約後速やかに監督職員と協議を行うこと。

照合	課長	照合者
----	----	-----

国補 文書番号 出整第1804号

工事名	令和4年度 地すべり対策事業 八幡地区外 地下水排除等工事			
査定番号		施行位置	出雲市佐田町大呂地内外	
工事種別	さく井工事	建設工事の種類	さく井工事	
契約の方法及び条件	契約方法	簡易型一般競争【総合評価方式】	開札場所	出雲合同庁舎 4階出雲県土整備事務所契約業務課
	開札日時	令和4年9月1日9時31分	質問期限	令和4年8月16日
	入札保証金	島根県会計規則第61条の2第3号の規定により免除する。	契約保証金	島根県会計規則第69条第1項の規定により契約金額の10/100以上。ただし、落札者が同規則第69条の2の各号いずれかに該当する場合は免除する。
	前金払	有	部分払	工事中4回以内とする。
	調査基準価格	設ける	完成期日	令和5年3月29日
	その他の条件	(1) 電子入札とする。 (2) 入札回数は1回とし、再度入札は行わない。		
	現場説明	実施しない		
契約の内容	区分	契約年月日	着手年月日	竣工年月日
	当初契約			
	変更契約			
	変更契約			
	受注者住所・氏名			
監督職員	総括監督員		主任監督員	監督員
記 事	<p>本件は、島根県会計規則及び島根県建設工事等入札執行要領の定めるところにより執行する。</p> <p>(注1) 建設リサイクル法対象の有無 有</p> <p>(注2) 入札に参加しようとする者の間に別紙に示す資本関係又は人的関係がないこと。</p> <p>(注3) 請負代金の額が300万円以上の工事においては、受注者は中間前金によるか又部分払によるかを契約締結時に選択するものとし、契約締結後の変更は認めないものとする。</p> <p>(注4) 請負代金の額が500万円以上の工事については、工事成績評定結果を公表します。</p> <p>(注5) 配置技術者について</p> <p>(1) 請負代金の額が3,500万円（建築一式工事は7,000万円）以上の工事については、主任技術者又は監理技術者を工事現場に専任で配置しなければならない。</p> <p>(2) 入札日以前又は入札当日において、他の工事を受注又は落札したことによって配置技術者を配置できなくなった場合は、本工事の入札参加資格を失うため、入札書提出前であれば、入札辞退届を提出すること。また、入札書提出後であれば、配置技術者を配置できなくなった旨を届け出ること。</p> <p>(3) 落札後において、配置技術者の重複等によって配置技術者の配置ができないことが明らかとなった場合は、契約前であれば契約を締結しないこともあり得ること。また、契約後であれば契約を解除することもあり得ること。</p> <p>(注6) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額を落札価格とするので、入札書に記載する金額は見積った契約希望金額（消費税及び地方消費税相当額を含んだ額）の110分の100に相当する金額とすること。この場合、10%に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。</p> <p>(注7) 落札決定後、契約締結までの間に落札者が入札参加の資格制限又は指名停止を受けた場合は、契約を締結しません。</p> <p>(注8) 加入義務のある社会保険等（健康保険、厚生年金保険、雇用保険）に加入していない者を全ての下請契約（2次下請以降も含む）において下請負人としてはならない。</p> <p>(注9) 受注者が上記（8）に違反していると認める場合、違約金の請求及び指名停止措置、並びに成績評定点の減点を行う。（ただし、発注者の指定した期間までに当該下請負人が社会保険等に加入し、発注者が加入を確認した場合はこの限りではない。）</p> <p>(注10) 本工事は「島根県公共工事共通仕様書」並びに「島根県公共工事共通仕様書 特記事項」を適用する。これらについては、次の島根県ホームページを参照のこと。 https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kouji/kouji_info/shiyousho/</p>			

- 1, 特許権等権利の対象となっている施工方法の指定 (第8条)
なし
- 2, 監督職員を2人以上置く場合のそれぞれの監督員の有する権限内容 (第9条第3項)
島根県建設工事監督要領のとおり
- 3, 中等を超える品質を必要とする工事材料 (第13条第1項)
なし
- 4, 監督員の検査を受けて使用すべき工事材料の指定 (第13条第2項)
なし
- 5, 監督員の立会のうえ調査すべき工事材料の指定 (第14条第1項)
なし
- 6, 調査について見本検査を受けるべき工事材料の指定 (第14条第1項)
なし
- 7, 監督員の立会のうえ施工すべき工事の指定 (第14条第2項)
なし
- 8, 見本又は工事写真等の記録を整備すべき工事材料の調査又は工事の施工 (第14条第3項)
なし
- 9, 支給材料及び貸与品の品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所及び引渡時期 (第15条第1項)
不用となった支給材料又は貸与品の返還方法 (第15条第9項)
支給材料の使用法 (第15条第11項)
なし
- 10, 工事の施工上必要な用地で発注者が確保するものの指定 (第16条第1項)
なし
- 11, 部分払いの対象とする工事材料及び工場製品の指定 (第38条第1項)
なし
- 12, 部分引渡しを受ける部分の指定 (第39条第1項)
なし
- 13, 火災保険その他の保険に付さなければならないもの (第53条第1項)
なし

(別紙)

入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

- ①資本関係以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。
 - (f)親会社と子会社の関係にある場合
 - (g)親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
- ②人的関係以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(f)については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。
 - (f)一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
 - (g)一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
- ③その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
その他上記①又は②と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
1. 工程関係	1. 関連する別途発注工事 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	調整項目 <input type="checkbox"/> 土砂・資材の流用 <input type="checkbox"/> 仮設又は工事用道路の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他 () 調整が必要な工事名: 調整が必要な工事の工期:
	2. 施工時期、施工時間及び施工工法の制限 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	制限される工種名: 施工時期及び施工時間: 施工方法:
	3. 他機関等との協議が未完了 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	協議機関名: 協議完了見込み時期:
	4. 他機関等協議による工程条件 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	制限される工種名: 施工期間:
	5. 占用物件工事との工程調整 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	占用物件名 <input type="checkbox"/> 電気 (工事時期:) <input type="checkbox"/> 電話 (工事時期:) <input type="checkbox"/> 水道 (工事時期:) <input type="checkbox"/> ガス (工事時期:) <input type="checkbox"/> その他 (工事時期:)
	6. 漁業協同組合との調整 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	漁業協同組合名: 内水面漁業協同組合については島根県公共工事共通仕様書特記事項による
	7. 工期	予定工期:令和5年3月29日 工期には、雨天・休祭日、年末・年始休暇及び官公庁の土曜閉庁日を見込んでいる。
	8. 週休2日工事の試行対象工事 <input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし	発注者指定型
	9. その他 <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし	内容:

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
2. 用地関係	1. 用地補償物件の未処理箇所 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	未処理箇所 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ~No. 完了見込み時期:
	2. 仮設ヤードの指定 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	仮設ヤード <input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 使用期間: 別添図面等 <input type="checkbox"/> ヤード位置図 <input type="checkbox"/> ヤード平面図 (面積: m ²) 使用条件・復旧方法: 占用料又は借上費 <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要
	3. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容:
3. 公害対策関係	1. 施工方法、建設機械・設備等の制限 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	制限項目 <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input type="checkbox"/> その他 ()
		<input type="checkbox"/> 施工方法 <input type="checkbox"/> 指定工法名: <input type="checkbox"/> その他:
		<input type="checkbox"/> 建設機械・設備 工種:
		<input type="checkbox"/> 作業時間 ()
	<input type="checkbox"/> その他 ()	
2. 事業損失防止に関する調査 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		調査項目 <input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 近隣家屋の事前・事後調査 <input type="checkbox"/> 地下水位等の調査 <input type="checkbox"/> その他 () 調査方法 <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> 別途協議 調査費 <input type="checkbox"/> 計上あり <input type="checkbox"/> 別途協議
		3. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
4. 安全対策関係	1. 交通安全施設関係の指定 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 交通誘導員の配置 配置人員: 人(内、交通誘導員A 人)
	2. 近接公共施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	近接公共施設名 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 施工時間の制限 施工時間: <input type="checkbox"/> 作業制限 制限を受ける工種: 制限内容:
	3. 落石、土砂崩落又は発破作業等に対する防護施設 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	防護施設等の配置 <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> 別途協議 設置期間:
	4. 労働安全衛生法第30条第2項に基づく、特定元方事業者の指名 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 本工事の請負者 <input type="checkbox"/> 工期当初より指名予定 <input type="checkbox"/> 工期途中より指名予定(今後別発注工事があった場合) <input type="checkbox"/> 関連他工事の請負者 ()
	5. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容:

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
5. 工事用道路関係	1. 一般道路(搬入路)の使用制限 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経路 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> 使用期間 () <input type="checkbox"/> 使用時間帯 () <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議
	2. 仮設道路の設置条件 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	構造・延長等 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> 安全施設等 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議
	3. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容:
6. 仮設備関係	1. 仮設備の引渡し又は引き継ぎ <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	引き渡す(引き継ぎを受ける)仮設備: 引き渡す(引き継ぎを受ける)工事名: 引き渡す(引き継ぎを受ける)時期: 引き渡し時(引き継ぎを受ける時)の条件:
	2. 仮設物の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	構造・設計条件 <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 施工方法の指定 工法名: <input type="checkbox"/> 設計条件の指定 制約事項:
	3. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容:

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
9. 排水工 (汚水処理を含む)	1. 汚水・泥水の排水制限 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容
	2. 水質調査 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	調査項目
	3. 水中ポンプ <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	口径: 台数: <input type="checkbox"/> 常時排水 <input type="checkbox"/> 作業時排水
	4. その他 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	内容:

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
10. 薬液注入	1. 薬液注入 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	工法区分: 注入材料 <input type="checkbox"/> 溶液型 <input type="checkbox"/> 有機 <input type="checkbox"/> 無機 <input type="checkbox"/> 懸濁型 <input type="checkbox"/> 瞬結 <input type="checkbox"/> 中結 <input type="checkbox"/> 長結 施工範囲 対象土量: m ³ 対象範囲の土質: 削孔 削孔間隔及び配置: 削孔総延長: 削孔本数 注入量 総注入量: 土質別注入率: その他

施工条件書

明示項目	明示事項	制約条件等
11. その他	1. 工事用資機材の保管又は仮置き場の指定 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	場所: 期間:
	2. 現場発生品 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	品名: 引渡場所: 運搬距離:
	3. 植栽保険 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	樹木名・本数等:
	4. 中間検査 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	検査回数: <input checked="" type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回
	5. 部分使用 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	部分使用範囲: 目的: 部分使用期間:
	6. 技術管理上特に必要な資料 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	資料名: H30年度 農村地域防災減災事業(地すべり対策事業) 八幡地区 地質調査及び機構解析(その2)業務 R元年度 地すべり対策事業 出雲第三期地区地質調査及び機構解析(神棚)業務 R3年度 次すべり対策事業 出雲第三期地区地質調査及び機構解析(角谷)業務 R2年度 次すべり対策事業 出雲第三期地区地質調査及び機構解析(山寄)業務
	7. 台帳の作成 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
	8. その他 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	内容: 令和3年7月20日付け技第251号「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等の対応について(通知)」に基づき、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる場合、その旨を記載した施工計画書を提出すること。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に必要と認められる場合、設計変更の対象とする。

建設発生土の利用又は搬出に関する特記仕様書

1. 建設発生土の利用

本工事に使用する土砂は、次の建設発生土を利用すること。

なお、搬入元のやむを得ない事情により利用することが困難な場合は、監督職員と協議すること。

搬入元の種類	残土仮置場	
施設名	八幡地区 残土仮置場	
所在地	出雲市佐田町大呂地内	
土量等	土量	200m ³
	土質	砂質土
	運搬距離	0.5km、9.3km
搬出予定時期	随時搬出	
所有者	会社名	個人所有
	担当者	— TEL() —
留意事項	—	

2. 建設発生土の搬出

本工事に伴い発生する土砂は、次の場所へ搬出すること。

なお、搬出先のやむを得ない理由により搬出することが困難な場合は、監督職員と協議すること。

搬入先の種類	残土場	
施設名	八幡地区 残土場	
所在地	出雲市佐田町大呂地内	
土量等	土量	200m ³
	土質	砂質土
	運搬距離	0.8 km
搬入予定時期	随時搬入	
所有者	会社名	個人所有
	担当者	— TEL() —
留意事項	—	

搬入先の種類	建設発生土受入施設	
施設名	(株)三原組 出雲南部地区残土処理場	
所在地	出雲市佐田町須佐 1529-1 外	
土量等	土量	220m ³
	土質	砂質土
	運搬距離	11.6 km
搬入予定時期	随時搬入	
管理者	会社名	株式会社 三原組
	代表者	三原惇志
受入料	1500 円/m ³	

建設廃棄物の処理に関する特記仕様書

1. 建設廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び島根県建設副産物処理要領に基づいて行うこと。
2. 建設廃棄物の処理を委託する場合は、建設廃棄物処理法の許可を得た業者に委託するか、個別指定を受けて適切に処理すること。この場合は、書面で委託契約を締結し、工事完成時に委託契約書を提示すること。
3. 建設廃棄物が適正に処理されたことを産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより確認し、処理完了後にD票及びE票、または電子マニフェストから印刷した受渡確認票（JWNETのロゴマーク付き）を提示すること。
また、マニフェストをもとに種類毎の処理量の集計表（様式は問わない）を作成し、提出すること。
4. 受注者が自ら処理する場合は、処理前後を対比して処理数量及び処理状況が確認できる図面、写真等の資料を提出すること。
5. 建設廃棄物の処理について、管轄の保健所と協議した場合はその資料の写しを提出すること。
6. 本工事の施工に伴い発生した建設廃棄物は、以下により処理すること。

(1) コンクリート塊

コンクリート塊の工事現場からの搬出については、工事現場から直線で半径20キロメートルの範囲内の再資源化施設に原則搬出すること。

(2) アスファルト・コンクリート塊

アスファルト・コンクリート塊の工事現場からの搬出については、工事現場から直線で半径40キロメートルの範囲内の再資源化施設に原則搬出すること。

7. 本工事の施工に伴い発生する建設廃棄物は、下表に示す処理施設への搬出を計画している。
なお、次表は積算上の条件明示であり、明示する処理施設での受け入れが困難となった場合などにより、明示する施設と異なる施設へ搬出せざるを得ないなどの場合は設計変更の対象とする。但し、受注者の責による場合はこの限りではない。
また、アスファルト・コンクリート塊の搬出先について、上記6（1）の条件を満たさない施設を選定する場合には、監督員と協議すること。

廃棄物処理施設

建設副産物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	建設発生木材	建設汚泥 (中間処理～最終処分)	その他 ()
① 受入れ場所	出雲土建(株) 出雲リサイクルプラント	出雲土建(株) 出雲リサイクルプラント			
② 受入れ時間帯	8時00分～ 17時00分迄	8時00分～ 17時00分迄	時 分～ 時 分迄	時 分～ 時 分迄	時 分～ 時 分迄
③受け入れ費用	受け入れ費用については、平日を見込んでいます。				
④仮置き等	—	—			
⑤受け入れ条件	最大粒径 30cm程度	最大粒径 30cm程度			
備考					

再生資材等の使用に関する特記仕様書

1. 受注者は、下記について再生資材を使用すること。なお、使用に際し、監督職員及び再資源化施設側（再生資材を製造する施設）と十分協議すること。

(1) 砕石・砂・アスファルトコンクリート・改良土

資 材 名	規 格	使 用 箇 所	備 考
再生クラッシャーラン	RC-40	路盤、基礎砕石	
再生密粒度アスファルト・コンクリート	骨材の最大粒径 20mm	表層	

2. 使用に当たっては、島根県公共工事共通仕様書、舗装の構造に関する技術基準・同解説、舗装設計施工指針及びプラント再生舗装技術指針等を遵守のうえ、適正な品質を確保すること。

3. 再生クラッシャーランの原材料は、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、廃瓦及び砕石とし、ゴミ、泥、ガラス、陶磁器、レンガ、プラスチック、金属等の有害量含んではならない。

また、次に示す品質および環境基準を満足することを製造業者が1年以内に行った試験の証明書等により確認しなければならない。

(1) 再生クラッシャーランの品質

下層路盤材として使用する場合の品質は、島根県公共工事共通仕様書の第2編 材料編 表2-2-4 再生砕石の粒度、第3編 土木工事共通編 第1章 総則 第6節一般舗装工 3-2-6-3 アスファルト舗装の材料 表3-2-16 下層路盤の品質規格 の規定による。ただし、一部を以下のとおりとする。

1) PIは規定しない。

2) コンクリート塊の再生骨材、廃瓦の再生骨材のすり減り減量は50%以下とする。

(ロサンゼルス試験器による粗骨材のすり減り試験(13~5mmのもの))

【下層路盤材以外の使用で、上記を準用する場合】

下層路盤材以外で使用する場合の品質は上記を準用する。

(2) 環境基準

廃瓦を原材料として使用している場合は、平成21年3月31日付け廃第809号『廃瓦破碎物の土木資材としての再生利用に係る取扱いについて』に定められた有害物質の溶出量基準を満足すること。

4. 再生クラッシャーランについては、施工計画書の主要資材一覧表において、備考欄にその原料名を記載すること。(参考値として配合割合を記載すること)

なお、これを変更する場合には、監督職員と協議すること。

注) 再生砕石の原材料に、「コンクリート塊」「アスファルト塊」「廃瓦」「新材」以外を使用する場合には、廃棄物処理法に基づく「再生利用業個別指定」を受ける必要があるため、注意すること。

5. 再生アスファルト混合物のうち、アスファルト・コンクリート再生骨材の配合率は、10~50%とし、配合設計書を提出し監督職員の確認を受けなければならない。なお、改質アスファルトを使用する再生加熱アスファルト混合物は再生骨材の配合率を10%以下とする。

ただし、アスファルト混合物事前審査認定混合物は除く。

6. 工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記の指定によりがたい場合は別途協議すること

建設リサイクル法に関する特記仕様書

1. 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、建設工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
①仮設	仮設工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
②土工	土工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事 □有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 ■手作業・機械作業の併用
⑥その他（ ）	その他の工事 □有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※当てはまる□に「レ」印を記入。

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	木 材
施設の名称	出雲土建（株） 出雲リサイクルプラント	出雲土建（株） 出雲リサイクルプラント	
所 在 地	出雲市芦渡町2409-1	出雲市芦渡町2409-1	
受 入 時 間	8:00～17:00	8:00～17:00	
仮 置 き 等			
受 入 条 件	最大粒径 30cm程度	最大粒径 30cm程度	
備 考			

注1) 上記(2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

注2) 土木工事に伴い発生する伐採木、伐根材や草は建設資材ではないため、特定建設資材廃棄物には該当しない。

2. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

再資源化等報告書

令和 年 月 日

(発注者)

様

氏名 (法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)

(郵便番号 -) 電話番号 - -

住所

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

1. 工事の名称 _____
2. 工事の場所 _____
3. 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
4. 再資源化等をした施設の名称及び所在地

(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地

5. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____万円

木製構造物の施工に関する特記仕様書

1. 本工事（指定仮設工事含む）は、「しまね県産木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、公共工事における県産材の着実な使用を確保するため、別表「木製構造物施工計画（予定）」に示す木製構造物の施工を計画している。
ただし、現地の施工条件等により木製構造物の施工が困難な場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、受注者は、下表に示した計画のみならず、現場事務所や作業現場の環境を周辺地域の景観と調和させる等、地域社会や住民に対する配慮等の観点から、仮施設・安全施設・営繕施設等への積極的な木材利用に努めること。
2. 木製構造物の施工
木製構造物の施工にあたっては、原則として「島根県公共工事木製構造物等設計指針（平成17年3月制定）」により、現地に適した施工を行うものとする。
3. 県産木材の利用
県産木材を利用した場合、本工事で木製構造物として使用する木材（間伐材を含む）が県産木材であることを証明するため、「しまねの木認証要領」に基づく「しまねの木認証書」の写し等を整備、保管し、監督職員または検査職員の請求があった場合は速やかに提示すること。

【木製工事用標示板、木製工事用看板、木製工事用バリケードを使用する場合（下記4）】

4. 本工事で使用する工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードは原則木製とする。
ただし、木製とすることが適切でない場合はこの限りではない。
 - (1) 工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードで使用する木材は県産木材を使用することとし、使用にあたっては上記3による。
 - (2) 工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードの規格・寸法等は別添仕様参考図に示すものと同等の仕様とする。

ただし、以下の点については、仕様を定めるものとする。
 - 1) 本体に記す、県産材を証明するものとして、次のいずれかを外枠の木材へ施された製品を使用すること。
 - A. 「島根県産木材」の焼文字があるもの。
 - B. 島根県産材を示すマーク等を焼付けられたもの。
 - (3) 受注者は工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードの設置にあたっては、設置の可否とともに設置台数、設置位置について監督職員と協議を行い、計画数量及び木製品内訳を「道路工事等保安施設記録簿」に記載のうえ施工計画書の交通安全へ添付する。
また、着手後、数量に変更が生じた場合は、監督職員と協議すること。
 - (4) 受注者は現地に設置された工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードの全台数が確認できるように写真管理し管理資料へ添付する。
 - (5) 本工事で使用する工事用標示板、工事用看板、工事用バリケードの契約数量については、発注者、受注者双方での協議のうえ変更対象とする。
 - (6) 「木製とすることが適切でない場合」とは以下の場合とする。
 - 1) 常時、強風下にさらされる箇所
 - 2) 木製安全施設の設置により、車両等の通行の妨げとなる狭窄な道路等
 - 3) 第三者の侵入を完全に防ぐ必要がある箇所
 - 4) 木製安全施設の損傷が重大に繋がるような箇所
 - 5) その他、監督職員が使用に適切でないと判断される箇所

木製構造物施工計画（予定）

発注者記載欄

工事名：

受注者確認欄（聞き取り可）

工 種 名	施設数 (基)	延長 (m)	面積 (m ²)	木材 使用量 (m ³)	うち 国産材			外産材
					うち 県産材	うち 間伐材		
例：木工沈床工	1			0.77	○	○	○	—
木製工事用標示板	2			0.0312				
木製工事用看板	3			0.0348				
木製工事用バリケード	5			0.086				
合計				0.152				

県内産の間伐材を使用した例

・ 契約後、受注者確認欄の項目について、発注者より確認を行いますのでご協力をお願いします。

木製工事用標示板 仕様参考図

[工事用看板 1,400mm×1,100mm]

※・この図面は参考図であり、仕様等を定めるものではない。

ただし、以下の点については、仕様を定めるものとする。

(1) 標示板の寸法は1,400mm×1,100mmとする。

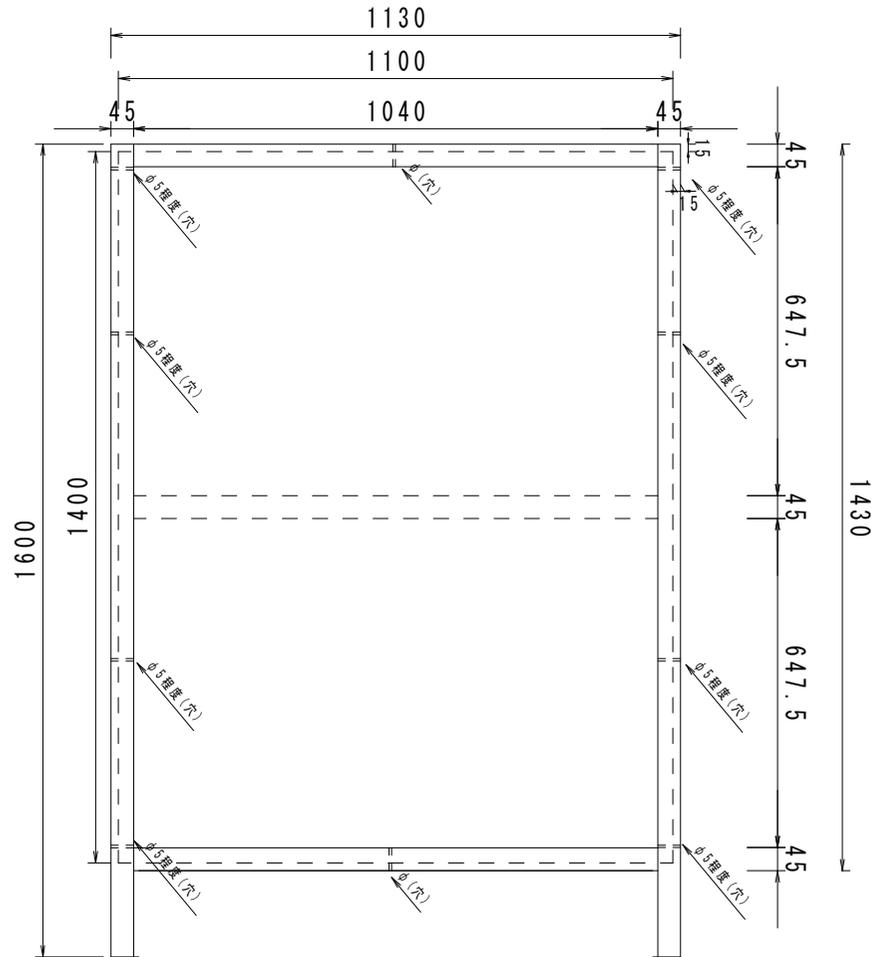
(2) 本体に記す、県産材を証明するものとして、次のいずれかを外枠の木材へ施すこと。

1) 「島根県産木材」の焼文字を施すこと(人目に触れやすい位置に施すこと)。

2) 島根県産材を示すマーク等を焼付けすること(人目に触れやすい位置に施すこと)。

・木材は島根県産木材を使用すること。

・木材には耐久性、変色を考慮し、防腐剤を塗布(2回塗)すること。

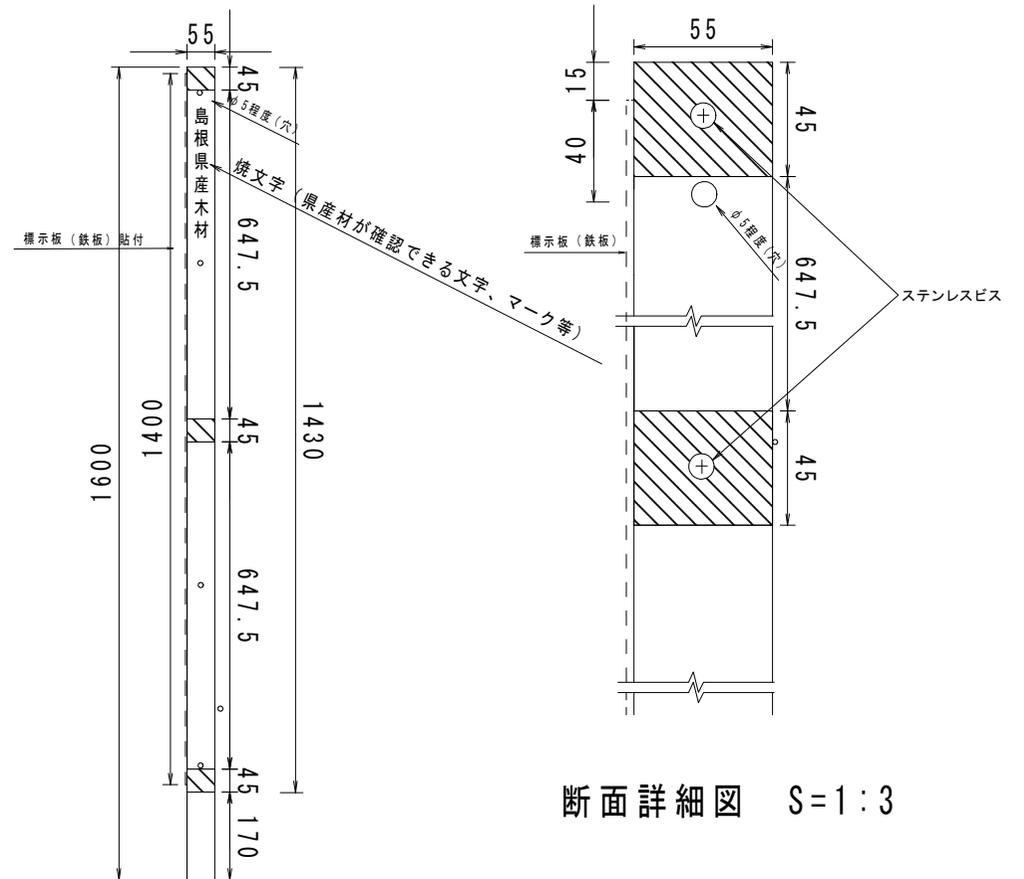


正面図 S=1:15

◇ 材料表

名称	形状・寸法	単位	数量	木材材積(m3)	摘要
縦木(角材)	45mm×55mm×1600mm	本	2	0.0079	
横木(角材)	45mm×55mm×1040mm	本	2	0.0052	
控木(角材)	45mm×55mm×1040mm	本	1	0.0026	
ステンレスビス		本	6		
看板(鉄板)	1400mm×1100mm	式	1		(原木換算数値)
木材材積計				0.0156	0.0235

注) 角材は垂木材規格を使用することとし、45mm×(45mm~55mm程度)を使用するものとするが、本参考図は45mm×55mmの規格を記載する。



断面図 S=1:15

断面詳細図 S=1:3

木製工事用看板 仕様参考図

[工事用看板 1,400mm×550mm]

※・この図面は参考図であり、仕様等を定めるものではない。

ただし、以下の点については、仕様を定めるものとする。

(1) 看板の寸法は1,400mm×550mmとする。

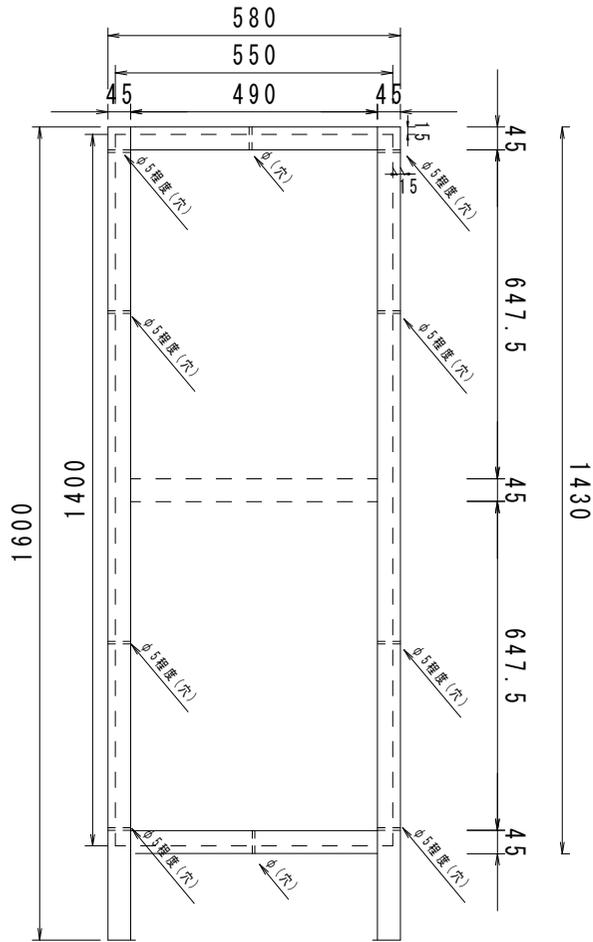
(2) 本体に記す、県産材を証明するものとして、次のいずれかを外枠の木材へ施すこと。

1) 「島根県産木材」の焼文字を施すこと（人目に触れやすい位置に施すこと）。

2) 島根県産材を示すマーク等を焼付けすること（人目に触れやすい位置に施すこと）。

・木材は島根県産木材を使用すること。

・木材には耐久性、変色を考慮し、防腐剤を塗布（2回塗）すること。

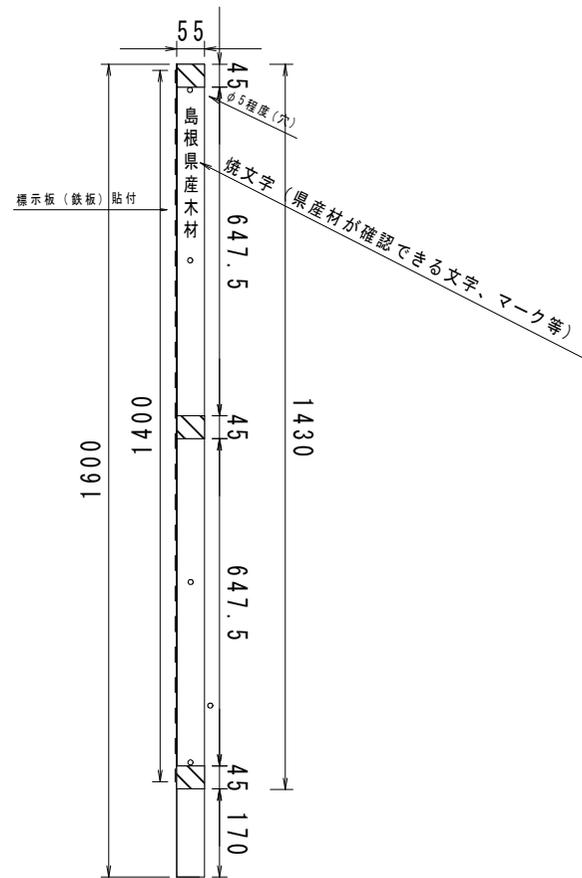


正面図 S=1:15

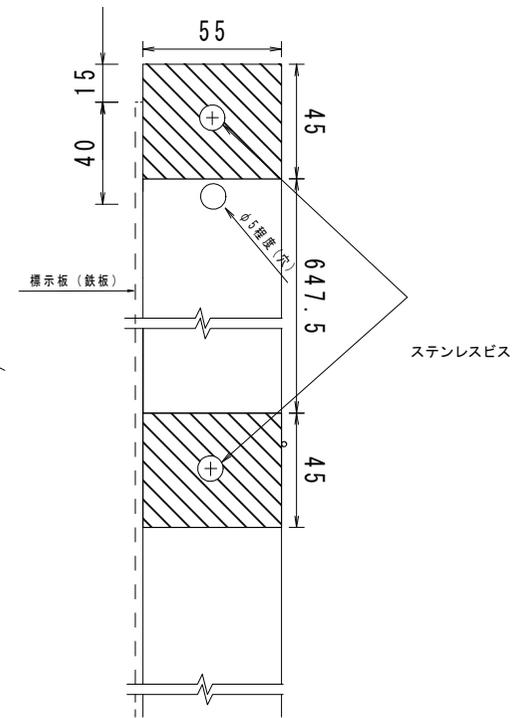
◇ 材料表

名称	形状・寸法	単位	数量	木材材積(m3)	摘要
縦木(角材)	45mm×55mm×1600mm	本	2	0.0079	
横木(角材)	45mm×55mm×490mm	本	2	0.0024	
控木(角材)	45mm×55mm×490mm	本	1	0.0012	
ステンレスビス		本	6		
看板(鉄板)	1400mm×1100mm	式	1		(原木換算数値)
木材材積計				0.0116	0.0173

注) 角材は垂木材規格を使用することとし、45mm×(45mm~55mm程度)を使用するものとするが、本参考図は45mm×55mmの規格を記載する。



断面図 S=1:15



断面詳細図 S=1:3

木製工事用バリケード 仕様参考図

[1,000mm × 800mm]

注1) 角材は垂木材規格を使用することとし、45mm × (45mm~55mm程度)を使用するものとするが、本参考図は45mm × 55mmの規格を記載する。
 注2) 下部横木(角材)の厚さは15mm~18mm程度を使用するものとするが、本参考図は15mmの厚さを記載する。

※この図面は参考図であり、仕様等を定めるものではない。

ただし、以下の点については、仕様等を定めるものとする。

(1) 寸法は全高800mm × 全幅1,000mmとする。

(2) 本体に記す、県産材を証明するものとして、次のいずれかを外枠の木材へ施すこと。

1) 「島根県産木材」の焼文字を施すこと(人目に触れやすい位置に施すこと)。

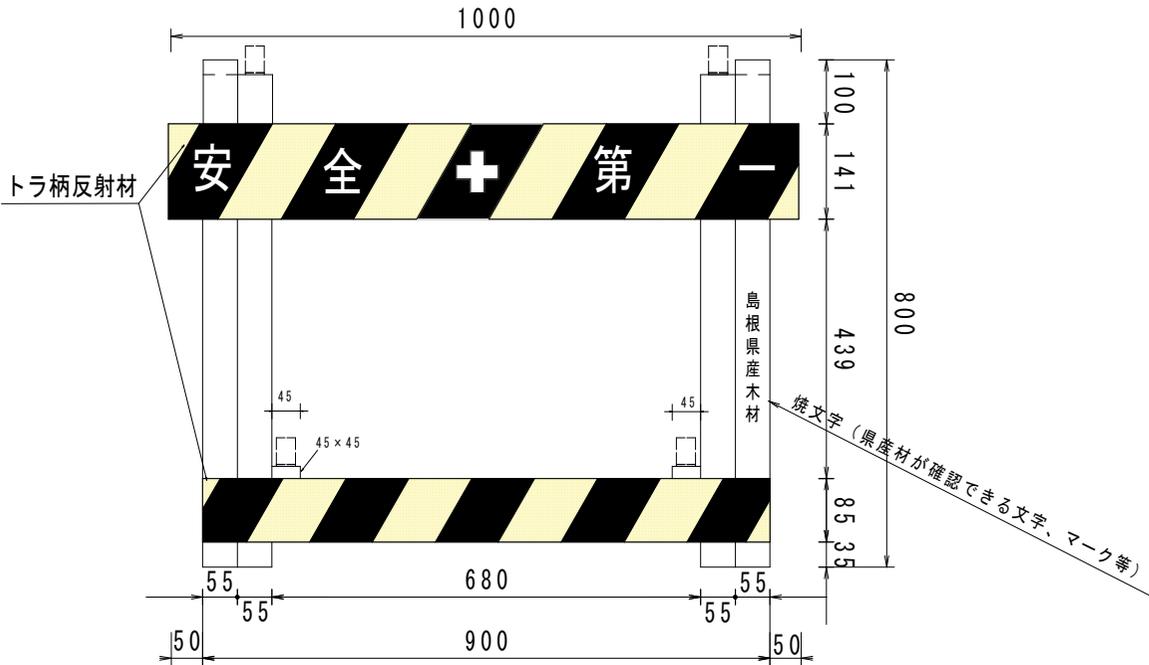
2) 島根県産材を示すマーク等を焼付けすること(人目に触れやすい位置に施すこと)。

・木材は島根県産木材を使用すること。

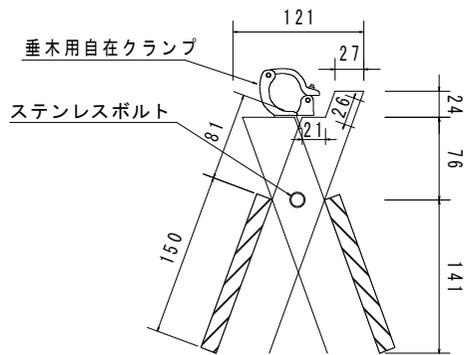
・木材には耐久性、変色を考慮し、防腐剤を塗布(2回塗)すること。

◇ 材料表

名称	形状・寸法	単位	数量	木材材積(m3)	摘要
縦木A(角材)	45mm × 55mm × 856mm	本	2	0.0042	
縦木B(角材)	45mm × 55mm × 830mm	本	2	0.0041	
横木A(上部角材)	150mm × 15mm × 1000mm	本	2	0.0045	
横木B(下部角材)	90mm × 15mm × 900mm	本	2	0.0024	
控木(角材)	45mm × 45mm × 486mm	本	2	0.0020	
ステンレスビス		本	16		
ステンレスボルト		本	4		
トラ柄反射材	夜間反射	式	1		
反射テープ	夜間反射	式	1		
垂木用自在クランプ		個	4		
木材控除	21mm × 26mm × 55mm × 2			0.0001	(原木換算数値)
木材材積計				0.0172	0.0258



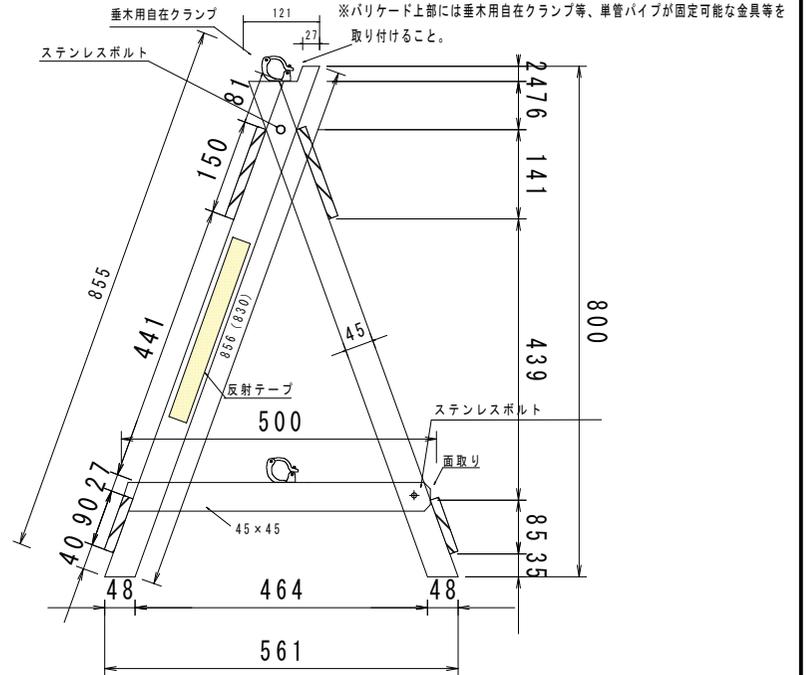
正面図 S=1:12



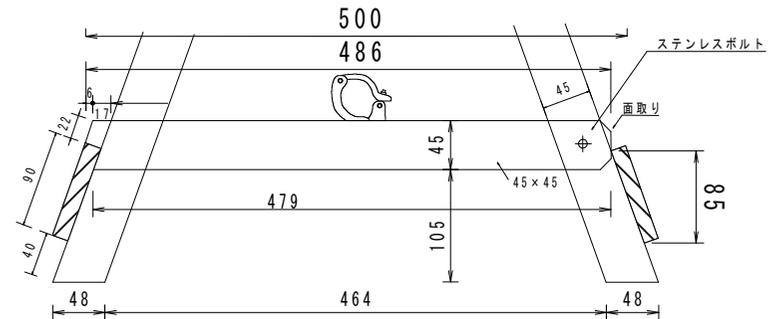
詳細断面図 S=1:5

※開き防止対策を施すこと。

※バリケード下部には単管パイプ又は土壌等が設置できる構造とすること。



断面図 S=1:12



詳細断面図 S=1:5

【参考様式1】

令和 年 月 日

島根県出雲県土整備事務所長 様

所在地
商号又は名称
代表者氏名

専任を要する主任技術者の兼務について（協議）

令和 年 月 日付けで公告のあった（契約を締結した）「○○○○○工事（今回協議する工事名）」について、下記のとおり主任技術者の他工事との兼務を認めていただきたく協議します。

記

1. 兼務予定工事

発注者	
工事名	
請負金額	円
工期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで
工事場所	
工事種別	
主任技術者	氏名
工事位置図	別添のとおり。自動車で通行可能な経路による移動距離を明記すること。

※請負金額欄には、公告中の案件の場合は予定価格（消費税を含む）を記入すること。

2. 兼務予定期間

令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで

3. 工事現場を離れる際の連絡体制

別紙のとおり。 ※連絡体制図等を添付すること。

本協議の申し出にあたり、以下のことを確約します。

- 1) 工事現場を離れる際は、常時連絡が取れる体制を確保するとともに、安全管理及び工程管理等の工事現場の運営に十分に配慮します。
- 2) 工事現場を離れた際に、発注者又は監督員から求められた場合には、速やかに工事現場に向かいます。
- 3) 他の工事との兼務が解消された場合は、速やかに報告します。

【参考様式2】

令和 年 月 日

様

島根県出雲県土整備事務所長

専任を要する主任技術者の兼務について（回答）

令和 年 月 日付けで協議のあった「〇〇工事（今回協議のあった工事名）」に係る主任技術者の他工事との兼務については、下記の条件を付したうえで認めます。

記

1. 工事現場を離れる際には、常時連絡が取れる体制を確保するとともに、安全管理及び工程管理等の工事現場の運営に十分に配慮すること。
2. 工事現場を離れた際に、発注者又は監督員から求められた場合には、速やかに工事現場に向かうこと。
3. 応札又は兼務する工事において、監理技術者への途中変更が必要となった場合は、応札する工事における技術者の途中交代を認める。ただし、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合に限る。
4. 他の工事との兼務が解消された場合は、速やかに報告すること。
5. 安全管理及び工程管理等の適正な施工の確保に支障をきたした場合は、その他発注者が必要と認めるときには兼務を取り消す場合がある。

【参考様式3】

令和 年 月 日

様

島根県出雲県土整備事務所長

専任を要する主任技術者の兼務について（回答）

令和 年 月 日付けで協議のあった「〇〇工事（今回協議のあった工事名）」に係る主任技術者の他工事との兼務については、下記の理由により認めないものとします。

記

※1）不承認とした理由を具体的に記載すること。

現場代理人の兼務に係る特記仕様書

(出雲県土整備事務所の R3 発生豪雨等災害対応用)

(適用)

第1条 この特記仕様書は、「令和3年度に発生した豪雨等に伴う災害復旧工事に係る主任技術者の専任及び現場代理人の常駐義務緩和に係る取扱いについて」（令和3年10月27日付け土総第541号、令和3年12月9日付け土総第541号の2、令和3年12月14日付け土総第541号の3通知及び令和4年1月24日付け土総第541号の4通知。以下、「R3 災害対応」という。）に基づき、島根県が令和4年1月25日以降に入札公告及び指名通知する工事に適用する。

(現場代理人の兼務の申請)

第2条 受注者は、次の要件を全て満たす建設工事で、同一の現場代理人が工事現場の運営・取締りをする上で支障がない場合は、様式1により現場代理人の兼務を発注者に申請することができる。

- (1) 兼務する建設工事の契約金額が共に 3,500 万円未満（建築一式工事にあつては 7,000 万円未満）であり、かつ工事現場間の移動距離が 10 km 程度までであること。
- (2) 兼務する建設工事は島根県の同一機関が発注又は監督する工事に限る。

ただし、R3 災害対応時に兼務する建設工事は、出雲県土整備事務所管内に所在する農林水産部・土木部等の地方機関並びに出雲市が発注又は監督する工事に限る。

- (3) 発注者又は監督員と常時携帯電話で連絡が取れる状況にあり、発注者等が求めた場合は、工事現場に速やかに向かう等の対応が可能なこと。

2 受注者は、次の要件を満たす場合は、本件工事の現場代理人と道路維持管理一括業務等の現場責任者との兼務を発注者に申請することができる。

- (1) 建設工事の契約金額が 3,500 万円未満（建築一式工事にあつては 7,000 万円未満）で、兼務する道路維持管理一括業務等の当初契約金額が 3,500 万円未満であること。
- (2) 兼務する建設工事と道路維持管理一括業務等は島根県の同一機関が発注又は監督するものに限り、かつ工事現場が道路維持管理一括業務等の委託範囲内であること。
- (3) 発注者又は監督員と常時携帯電話で連絡が取れる状況にあり、発注者等が求めた場合は、工事現場に速やかに向かう等の対応が可能なこと。

(兼務できる工事の数)

第3条 一の現場代理人が管理できる建設工事の数は、島根県の同一機関が発注等するものに限り、2件〔道路維持管理一括業務等（1業務まで）の現場責任者との兼務に

についても、建設工事と合わせて2件] までとする。

2 前項の他、当分の間、次の通り兼務できるものとする。(建築一式工事を除く。)

(1) 一の現場代理人が管理できる建設工事の数は、島根県の同一機関が発注等するものに限り、最大3件 [道路維持管理一括業務等 (1業務まで) の現場責任者との兼務についても、建設工事と合わせて最大3件] までとする。

(2) 前条第1項第2号のただし書に該当し、兼務する工事のうち少なくとも1件が令和3年度に発生した豪雨等に伴う災害復旧工事 (改良復旧工事を含む。以下「R3災害復旧工事」という。) である場合は、一の現場代理人が管理できる建設工事の数は、最大5件 [道路維持管理一括業務等 (1業務まで) の現場責任者との兼務についても、建設工事と合わせて最大5件] までとする。

ただし、出雲市が発注する工事との兼務については、R3災害復旧工事の出雲市発注分を1件以上含む場合に限るものとする。

(3) 前条第1項第2号のただし書に該当し、兼務する工事のうち少なくとも1件がR3災害復旧工事である場合には、前条第1項第1号及び前条第2項第1号の規定にかかわらず、建設工事の契約金額が3,500万円以上であっても一の現場代理人が管理できる建設工事の数は、最大2件 [道路維持管理一括業務等 (1業務まで) の現場責任者との兼務についても、建設工事と合わせて最大2件] までとする。

ただし、出雲市が発注する工事との兼務については、R3災害復旧工事の出雲市発注分に限るものとする。

(現場代理人の兼務に係る承認)

第4条 発注者は、受注者の申請に基づき、当該申請に係る各工事現場の契約金額、移動距離、施工形態等を総合的に勘案して、現場代理人の兼務について承認の適否を決定する。

(承認・非承認の通知)

第5条 発注者は現場代理人の兼務について承認する場合には様式2により、また承認しない場合は様式3により、速やかに受注者に通知するものとする。

(工事成績評定点への反映等)

第6条 兼務を承認した工事において、工事現場の運営、取締り等に支障をきたした場合、不良 (粗雑) な工事となった場合などは、工事成績評定点への反映を行うとともに、指名停止措置等の対象となる場合がある。

【様式1-他工事の現場代理人との兼務を申請する場合】

令和 年 月 日

島根県出雲県土整備事務所長 様

所在地
商号又は名称
代表者氏名

現場代理人の兼務について（申請）

この度落札した「〇〇工事（今回申請する工事名）」について、下記のとおり現場代理人の他工事との兼務について申請します。

記

1. 兼務予定工事の状況（R3災害対応の場合は5件までとする。）

発注者	
工事名	
請負金額	円
工期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで
兼務予定期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで
工事場所	
工事種別	
現場代理人	氏名
工事位置図	別添のとおり。自動車で通行可能な経路による移動距離を明記すること。

※請負金額欄には、公告中の案件の場合は予定価格（消費税を含む）を記入すること。

2. 工事現場を離れる際の連絡体制

別紙のとおり。 ※連絡体制図等を添付すること。

本協議の申し出にあたり、以下のことを確約します。

- 1) 工事現場を離れる際は、常時連絡が取れる体制を確保するとともに、工事現場の運営、取締り等に十分に配慮します。
- 2) 工事現場を離れた際に、発注者又は監督員から求められた場合には、速やかに工事現場に向かいます。
- 3) 他の工事との兼務が解消された場合は、速やかに報告します。

【様式1-道路維持管理一括業務等の現場責任者との兼務申請をする場合】

令和 年 月 日

島根県出雲県土整備事務所長 様

所在地
商号又は名称
代表者氏名

現場代理人の兼務について（申請）

この度落札した「〇〇工事（今回申請する工事名）」について、下記のとおり現場代理人の道路維持管理一括業務等の現場責任者との兼務について申請します。

記

1. 兼務予定業務の状況

発注者	
委託業務名	
当初契約額 （税込）	円
委託期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで
兼務予定期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで
実施場所	
現場責任者	氏名
委託範囲が わかる 図面	別添のとおり。

※当初契約額欄は、発注中の案件の場合は空欄とすること。

2. 工事現場を離れる際の連絡体制

別紙のとおり。 ※連絡体制図等を添付すること。

本協議の申し出にあたり、以下のことを確約します。

- 1) 工事現場を離れる際は、常時連絡が取れる体制を確保するとともに、工事現場の運営、取締り等に十分に配慮します。
- 2) 工事現場を離れた際に、発注者又は監督員から求められた場合には、速やかに工事現場に向かいます。
- 3) 他の工事との兼務が解消された場合は、速やかに報告します。

【様式2】

令和 年 月 日

様

島根県出雲県土整備事務所長

現場代理人の兼務について（回答）

令和 年 月 日付けで申請のあった「〇〇工事（今回申請のあった工事名）」に係る現場代理人の他工事との兼務については、下記の条件を付したうえで認めます。

記

1. 工事現場を離れる際には、常時連絡が取れる体制を確保するとともに、安全管理及び工程管理等の工事現場の運営、取締り等に十分に配慮すること。
2. 工事現場を離れた際に、発注者又は監督員から求められた場合には、速やかに工事現場に向かうこと。
3. 他の工事との兼務が解消された場合は、速やかに報告すること。
4. 工事現場の運営、取締り等に支障をきたした場合、その他発注者が必要と認めるときには兼務を取り消す場合がある。

【様式3】

令和 年 月 日

様

島根県出雲県土整備事務所長

現場代理人の兼務について（回答）

令和 年 月 日付けで申請のあった「〇〇工事（今回申請のあった工事名）」に係る現場代理人の他工事との兼務については、下記の理由により認めないものとします。

記

※1) 不承認とした理由を具体的に記載すること。

島根県週休2日工事特記仕様書（農林水産部編）

本工事は、島根県週休2日工事（以下「週休2日工事」という）の対象工事である。

1 定義

- (1) 「週休2日工事」における「週休2日」とは、対象期間において、週休2日相当（4週8休以上）の現場閉所をすることをいう。
- (2) 「対象期間」とは、工事着手日（現場事務所等の設置、または測定の開始）から工期末の20日前までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者が週休2日の対象外とする期間は含まない。
- (3) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、監督職員が必要と認めた現場管理上必要な作業を行う場合は除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。なお、現場事務所または会社等で当該工事に関連する事務作業のみを行う場合は現場閉所とはならない。

2 実施方法

- (1) 受注者は、受注者希望型においては、契約後、施工計画書の提出時に、「週休2日工事」の実施希望の有無を発注者に書面（別紙様式1）にて報告するものとする。
- (2) 受注者は、発注者指定型においては、契約後、工期に関する特記仕様書に定める週休2日工事を確保できる工期を受発注者間で共有した後、速やかに「休日取得計画表（島根県版）」等により取得計画を監督職員へ提出するものとする。

3 実施報告

受注者は、対象期間終了後、すみやかに対象期間全体の休日等取得実績表を提出しなければならない。

なお、休日等取得実績表の提出にあたっては、島根県週休2日工事試行要領及びQ&Aを確認の上、作成し、その際、現場閉所の取り扱いに疑義がある現場作業については、監督職員へ確認しなければならない。

4 工事費の積算及び設計変更

発注者は、「発注者指定型」においては、発注時点でそれぞれの経費に4週8休以上の補正係数を乗じるものとし、週休2日相当の現場閉所率を確保できなかった場合は、補正なしとして設計変更するものとする。

「受注者希望型」においては、週休2日の取り組みに際して、対象期間中の現場の閉所状況に応じて、以下のとおり、それぞれの経費に補正係数を乗じて設計変更するものとする。

「発注者指定型」、「受注者希望型」いずれの取り組みを行った場合であっても、現場閉所率が確保できなかった事由について、疑義がある場合は受発注者協議により確認すること。

(1) 現場の閉所状況

- ① 4週8休以上
現場閉所率が28.5%（8日/28日）以上の場合
- ② 4週7休以上 4週8休未満
現場閉所率が25.0%（7日/28日）以上の場合
- ③ 4週6休以上 4週7休未満
現場閉所率が21.4%（6日/28日）以上の場合

(2) 補正係数

	労務費	機械経費 (賃料)	共通仮設費率	現場管理費率
① 4週8休以上	1.05	1.04	1.04	1.06
② 4週7休以上 4週8休未満	1.03	1.03	1.03	1.04
③ 4週6休以上 4週7休未満	1.01	1.01	1.02	1.03

※市場単価方式による積算にあたっては、別表1に示す補正係数を乗じるものとする。

5 履行証明書

受注者は、2 実施方法により週休2日に取り組み、4週6休以上の現場閉所が確認でき、かつ竣工検査に合格した工事について、週休2日工事履行証明書（様式2）により、発注者に履行証明を求めることができる。

6 提出書類の虚偽

提出された休日等取得実績表に虚偽の記載が工事中又は工事完了後に判明した際には、建設業法等に基づき、不誠実な行為として取り扱う。

市場単価方式による週休 2 日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数		
		4 週 6 休以上 4 週 7 休未満	4 週 7 休以上 4 週 8 休未満	4 週 8 休以上
鉄筋工（太径鉄筋含む）		1.01	1.03	1.05
鉄筋工（ガス圧接工）		1.01	1.02	1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.01	1.03	1.04
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.00	1.01	1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02	1.03
法面工		1.00	1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.02	1.03
木材チップ植生基材吹付工		1.00	1.01	1.02
道路植栽工	植樹	1.01	1.03	1.05
	剪定	1.01	1.03	1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.00	1.02	1.04
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去・移設	1.01	1.03	1.04
道路付属物設置工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
公園植栽工		1.01	1.03	1.05
軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02
橋面防水工		1.00	1.01	1.02
グルーピング工		1.00	1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.02	1.03
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.00	1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05

市場単価方式による週休 2 日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数		
		4 週 6 休以上 4 週 7 休未満	4 週 7 休以上 4 週 8 休未満	4 週 8 休以上
砂基礎工	機械施工	1.01	1.03	1.05
碎石基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
碎石基礎工	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホール工		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
取付管およびます設置工	取付管布設 及び支管取付工	1.00	1.01	1.02

※「木材チップ現地破碎工」、「大型ブロック工」については、「建設工事積算基準第15編（単価）」による。

(様式2)

週休2日工事履行証明書

令和 年 月 日

(発注機関の長) 様

(受注者名)

貴県発注の下記工事について、週休2日工事の実績を証明願います。

工 事 名 :
工 事 箇 所 :
工 期 : 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
竣 工 検 査 日 : 令和 年 月 日
受 注 者 名 :

週休2日の実績内容 : ○週○休以上(現場閉所率○%以上)

※○に下記を参考に該当の数字を記載する。

① 4週8休以上(現場閉所率28.5%以上)

② 4週7休以上4週8休未満(現場閉所率25.0%以上)

③ 4週6休以上4週7休未満(現場閉所率21.4%以上)

下線部分は該当内容を記載後、行を削除すること。

上記のとおり、相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

(証明者)

(証明する機関の長) 印

島根県 快適トイレに関する 特記仕様書

本工事は、建設現場を働きやすい環境とする取り組みの一環として、男女ともに快適に使用できる仮設トイレ（以下、「快適トイレ」という。）の設置に取り組む工事であり、「建設現場に設置する「快適トイレ」の試行要領（島根県土木部及び農林水産部）」（以下、「試行要領」という）により対象工事となる場合、以下のとおりとする。

1 内容

受注者は、現場に以下の①～⑪の仕様を満たす快適トイレを設置することを必須とする。

⑫～⑰については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

- ・ 快適トイレに求める標準仕様【必須】
 - ① 洋式便座
 - ② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む）
 - ③ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
（必要に応じて消臭剤等を活用し臭い対策をとること）
 - ④ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
 - ⑤ 照明設備（電源がなくても良いもの）
 - ⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重 5 kg 以上）
- ・ 快適トイレとして活用するために備える付属品【必須】
 - ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
 - ⑧ 入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め、入口が直接見えないような配置等)
 - ⑨ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）
 - ⑩ 鏡付の洗面台
 - ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品
- ・ 推奨する仕様、付属品【任意】
 - ⑫ 室内寸法 900×900mm 以上（半畳程度以上）
 - ⑬ 擬音装置
 - ⑭ フィッティングボード
 - ⑮ フラッパー機能の多重化
 - ⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
 - ⑰ 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）

2 実施方法

- (1) 受注者は、快適トイレの設置を希望する場合には、当初施工計画書作成前に、工事打合せ簿により監督職員と協議を行うものとする。
- (2) 受注者は、当初施工計画書提出に併せて、様式-1「快適トイレチェックシート」に必要事項を記入し、カタログ、パンフレット等の資料とともに、工事打合せ簿により監督職員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、当該工事における快適トイレの設置費用が確定後、速やかに発注者へ工事打合せ簿により協議するものとする。

3 快適トイレ設置費用の積算

(1) 島根県土木部（建築住宅課を除く）及び農林水産部が所管する建設工事

ア 快適トイレの設置費用は、設計変更で計上するものとし、その費用は共通仮設費の営繕費に積上計上する。

イ 快適トイレの設置費用は、51,000円/基・月を上限に「積算上の差額」※1を計上するものとし、男女別で1基ずつ計2基/工事（施工箇所）※2まで計上できるものとする。

※1 ここでいう「積算上の差額」とは、快適トイレの設置にあたって実際にかかった費用から10,000円/基・月（従来型トイレ）を減じた額。

※2 「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

ウ ハウス型等の男女別のトイレが一体型となっており、男女別の入り口になっている場合には、102,000円/基・月を上限に「積算上の差額」※1を計上するものとし、1基/工事（施工箇所）※2まで計上できるものとする。

※1 ここでいう「積算上の差額」とは、快適トイレの設置にあたって実際にかかった費用から20,000円/基・月（従来型トイレ×2基分）を減じた額。

※2 「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

4 配慮事項

快適トイレの導入にあたっては、以下の事項について可能な限り配慮すること。

(1) 全般

女性トイレの設置にあたっては、あらかじめ、建設現場で働く女性の意見を聞くこと。

(2) 設置位置

女性トイレと男性トイレや喫煙所は隣接して設置せず、一定の距離を確保する。

(3) 動線の配慮

男性トイレと女性トイレは入口を分ける等、動線の配慮をする。

(4) ドアの向き

女性トイレのドアは、開けたら真正面を向くことのないよう、便座と直角の向きのドアを採用するなどの工夫をすること。

(5) 照 明

窓の大きさに応じて、中にいる人のシルエットが窓に映り込むことのないよう、照明をスポットライト式にするなどの工夫をすること。

(6) 室 温

トイレ内の室温を快適に保つため、冷暖房、扇風機等の設備を備え付けるなどの配慮をすること。

快適トイレ チェックシート

所管事務所名			
工事名			
受注者名			
工事期間	自	令和 年 月 日	
	至	令和 年 月 日	
設置対象工事	女性が現場に勤務する工事		
	現場見学会を開催する予定がある工事	実施予定時期	
快適トイレ設置予定期間	自	令和 年 月 日	
	至	令和 年 月 日	
	期間	月	…A
レンタル会社名			
メーカー名			
製品名(型式)			
快適トイレ設置概算費用(見積)	設置基数	基	…B
	設置費用計	円	…C
	1基当月額費用	#DIV/0! 円/基・月	…D=C/(A*B)

快適トイレ仕様の確認		受注者確認	発注者確認	
		提出時 日付 /	書類確認 日付 /	現地確認 日付 /
(1) 快適トイレに求める標準仕様【必須】				
①	洋式便座			
②	水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付きを含む)			
③	臭い逆流防止機能(フラッパー機能) (必要に応じて消臭剤等を活用し臭い対策をとること)			
④	容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの)			
⑤	照明設備(電源がなくても良いもの)			
⑥	衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能 (耐荷重5kg以上)			
(2) 快適トイレとして活用するために備える付属品【必須】 ただし、鳥根県農林水産部農村整備課、農地整備課が所管する建設工事は【任意】				
⑦	現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示			
⑧	入口の目隠しの設置 (男女別トイレ間も含め、入口が直接見えないような配置等)			
⑨	サニタリーボックス(女性専用トイレに限る)			
⑩	鏡付の洗面台			
⑪	便座除菌シート等の衛生用品			
(3) 推奨する仕様、付属品【任意】				
⑫	室内寸法900×900mm以上(半畳程度以上)			
⑬	擬音装置			
⑭	フィッティングボード			
⑮	フラッパー機能の多重化			
⑯	窓など室内温度の調整が可能な設備			
⑰	小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場)			

※ 必要事項を記入し、カタログ、パンフレット等の資料とともに、工事打合せ簿により監督員に提出すること。

※ 監督員は、提出された資料及び本シートにより、現場(やむを得ない場合は机上)にてチェックを行うこと。

※ 監督員は竣工検査完了後、「快適トイレチェックシート」の写しを技術管理課へ提出すること。

快適トイレ チェックシート

所管事務所名	〇〇県土整備事務所 〇〇部 〇〇課		
工事名	国道●●号 △△工区 防災安全交付金(改築) 工事 第2期		
受注者名	(株)▲▲建設		
工事期間	自	令和2年5月20日	
	至	令和3年3月10日	
設置対象工事	<input type="radio"/>	女性が現場に勤務する工事	
	<input type="radio"/>	現場見学会を開催する予定がある工事	実施予定時期
快適トイレ設置予定期間	自	令和2年7月1日	
	至	令和3年1月31日	
	期間	7.0 月	…A
レンタル会社名	▽▽リース(株) 松江支店		
メーカー名	(株)▼▼製作所		
製品名(型式)	☆☆☆トイレハウスユニット 999-A521		
快適トイレ設置概算費用(見積)	設置基数	2 基	…B
	設置費用計	840,000 円	…C
	1基当月月額費用	60,000 円/基・月	…D=C/(A*B)

快適トイレ仕様の確認		受注者確認	発注者確認	
		提出時 日付 6/10	書類確認 日付 6/10	現地確認 日付 9/10
(1) 快適トイレに求める標準仕様【必須】				
①	洋式便座	✓	✓	✓
②	水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付きを含む)	✓	✓	✓
③	臭い逆流防止機能(フラッパー機能) (必要に応じて消臭剤等を活用し臭い対策をとること)	✓	✓	✓
④	容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの)	✓	✓	✓
⑤	照明設備(電源がなくても良いもの)	✓	✓	✓
⑥	衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能 (耐荷重5kg以上)	✓	✓	✓
(2) 快適トイレとして活用するために備える付属品【必須】 ただし、鳥根県農林水産部農村整備課、農地整備課が所管する建設工事は【任意】				
⑦	現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示	✓	✓	✓
⑧	入口の目隠しの設置 (男女別トイレ間も含め、入口が直接見えないような配置等)	✓	✓	✓
⑨	サンタリーボックス(女性専用トイレに限る)	✓	✓	✓
⑩	鏡付の洗面台	✓	✓	✓
⑪	便座除菌シート等の衛生用品	✓	✓	✓
(3) 推奨する仕様、付属品【任意】				
⑫	室内寸法900×900mm以上(半畳程度以上)			
⑬	擬音装置			
⑭	フィッティングボード			
⑮	フラッパー機能の多重化			
⑯	窓など室内温度の調整が可能な設備	✓	✓	✓
⑰	小物置き場等(トイレトーパー予備置き場)	✓	✓	✓

※ 必要事項を記入し、カタログ、パンフレット等の資料とともに、工事打合せ簿により監督員に提出すること。

※ 監督員は、提出された資料及び本シートにより、現場(やむを得ない場合は机上)にてチェックを行うこと。

※ 監督員は竣工検査完了後、「快適トイレチェックシート」の写しを技術管理課へ提出すること。

工期に関する特記仕様書

1. 当初工期の日数算出方法

積み上げ方式による工期設定

上記が「その他」の場合の具体的な設定方法

2. 当初工期の設定において、制限となる事項の有無

制限なし

上記が「制限あり」の場合、その具体的な理由

3. 当初工期に見込んでいる各種日数

単位:日

①準備期間	40
②後片付け期間	20
③不稼働日数※1	65
()の数值は③のうち土日、祝日、年末年始(3日)	(65)
④その他	
計	125

※1 休日と悪天候により作業ができない日数

4. 当初工期の確認

受注者は発注者が定めた当初工期日数について、適正な工期日数であることを速やかに確認しなければならない。なお、この結果は受発注者双方が共有するものとする。

5. 当初算定工期及び施工中における工期の変更方法

島根県公共工事請負契約約款第24条に基づく協議に関して、受注者は当初算定工期について、工事工程のクリティカルパス等を明確にした上で協議することが出来る。

なお、発注者は受注者が作成した工程が妥当であると判断でき、当初発注時の工期では工事完了が困難であると認められる場合かつ、「2. 当初工期の設定において、制限となる事項の有無」を「制限なし」とした場合、工期の変更に応じなければならない。

また、施工中に生じた不測の事態のため、工期延期が必要となった場合についても、上記に準じて行うものとする。

6. 受注者の工期検討及び受発注者の役割について

当初工期の変更が必要と判断した場合、または前工程で受注者の責によらない事象で工程遅延が発生する等により適正な工期を確保できなくなった場合は、受注者は速やかに発注者にその旨を報告し、元下間で協議・合意した結果を以て発注者と協議を行うものとする。発注者は協議があったときは、工期変更等の方針を明確にしなければならない。

運搬費及び準備費の設計変更に関する特記仕様書（農業農村整備編）

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費(以下、「実績変更対象経費」という。)については、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

運搬費:島根県建設工事積算基準13編1章②工事費の積算の別表2共通仮設費率適用範囲における「運搬費の共通仮設費率の対象項目の1(1)、(3)、(4)、(5)」のうち建設機械の運搬費

準備費:島根県建設工事積算基準13編1章②工事費の積算の別表2共通仮設費率適用範囲における「準備費の共通仮設費率の対象項目の3(1)及び(2)」のうち伐開・除根・除草費

2. 実施方法

(1)受注者は、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合(別表1参照)を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。

(2)受注者は、最終精算変更時点において、実績変更対象経費に関する内訳書(様式1)を作成するとともに、様式1に記載した計上額が証明できる書類(領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

なお、本協議を行う場合は、できる限り速やかに発注者と事前に打合せを行うものとする。

3. 工事費の積算及び設計変更

(1)受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。

(2)発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「2.(2)の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「実績変更対象経費」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。

4. 提出書類の疑偽

(1)発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。

(2)疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

別表1

○共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合

(%)

費目	工種	ほ場整備 工事	農用地 造成工事	舗装工事	道路改良 工事	水路トン ネル工事	水路工事	排水路 工事	河川工事	管水路 工事	管更正 工事	畑かん 施設工事	海岸工事	コンクリ ト補修工事	ため池工事	その他土木 工事(1)	その他土木 工事(2)	フィルダム 工事	コンクリ トダム工事
運搬費(建設工事の運搬に要する費用)		19.55	12.05	18.46	12.43	11.08	12.61	10.76	12.05	12.03	11.68	11.05	16.73	8.84	12.86	14.54	20.67	0.17	0.45
準備費(伐開・除根・除草に要する費用)		2.39	4.94	0.35	1.41	1.07	1.46	0.39	3.42	1.22	0.29	0.56	1.73	0.67	3.02	0.77	2.62		

様式1

○実績変更対象経費に関する内訳書

(円)

費目		費用	内容	計上額
共通 仮設費	運搬費	建設機械の 運搬費	建設機械の運搬等に要する費用	
	準備費	伐開・除根・除 草費	準備作業に伴う伐開、除根、除草 作業に要する費用	
合計				

遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更の特記仕様書

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等
生コンクリート	18-8-40BB	出雲A
アスファルト合材	再生密粒度アスファルト混合物 (20)	出雲A、出雲B、松江D、大田A
再生クラッシュラン	RC-40	出雲A、出雲D
大型ブロック	KP 450型	出雲A、益田A

地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の特記仕様書

- 1 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象間接費」という。）について、地域外から労働者を確保したことにより、建設工事積算基準（島根県農林水産部・土木部）に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

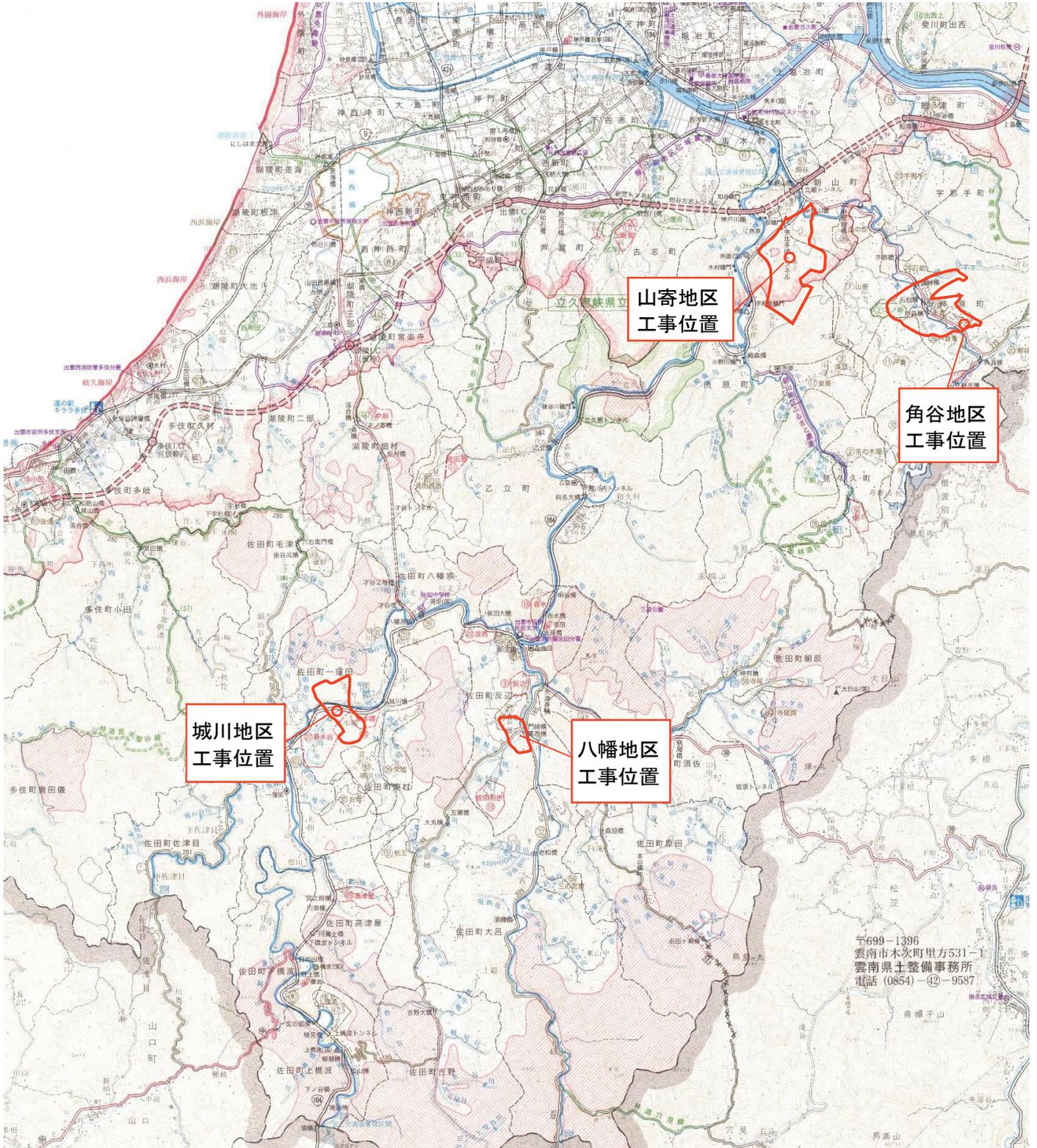
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額（建設工事積算基準に基づき算出した額）における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。
 - 1）共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：9.4%
 - 2）現場管理費に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：2.62%
- 3 労働者を地域以外から確保せざるを得なくなった場合には、事前に監督職員と「労働者確保に係る実施計画書（様式1）」、提出書類により必要性を示し協議するものとする。
- 4 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書（様式2）」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 5 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 6 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、建設工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。

なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類を持って設計変更を行うものとする。
- 7 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
- 8 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

公表単価 一覧

名称	規格等	単位	決定単価
鋼製グレーチング蓋	みぞ蓋800用 (T-14)	枚	73,650円

位置図



工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費 (八幡)					
地すべり防止 (4 測線)					
土工		式			
掘削工					
土砂掘削					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	9	m3			
掘削 土砂 現場制約あり	7	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	7	m3			
機械 (不整地運搬車) 小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離 30～50m未満	20	m3			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	20	m3			
ダンプトラック運搬 (標準以外) 土砂 運搬距離0.3km	20	m3			
整地 残土受入れ地での処理	20	m3			
法面整形工					
法面整形 (掘削部)					
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	10	m2			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	30	m2			
法面工					
作業土工					

工事数量総括表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り					
	1	式			
植生工					
植生マット					
植生マット工 [規]500m2未満	40	m2			
かご工					
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	18	m			
流末水路工 18号					
作業土工					

工事数量総括表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り					
	1	式			
埋戻し					
	1	式			
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	21	m			
側溝蓋					
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	19	枚			
暗渠排水管					
暗渠排水管 掘付 波状管及び網状管 200~400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	6	m			

工事数量総括表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水機工					
集水機					
二次製品溜機 300型	5	基			
水抜ボーリング工 第18号					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	132	m			
ボーリング 地表 レキ質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	29	m			
保孔管					

工事数量総括表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	149	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	12	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 平地	36	空m3			
流末処理					
流末処理管 第18号水抜きボーリング工	1	式			
孔口保護工					
孔口保護版					

工事数量総括表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.04	m ³			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.32	m ²			
床掘り 土砂 現場制約あり	0.04	m ³			
仮設工					
防護施設工					
切土（発破）防護柵					
仮設防護柵 H型 10.0m×1.50m 供用日数 2日	12	m			
地すべり防止（7測線）		式			
土工					

工事数量総括表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削工					
土砂掘削					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	60	m ³			
機械（不整地運搬車）小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離200m未満	50	m ³			
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準以外)	50	m ³			
ダンプトラック運搬（標準以外） 土砂 運搬距離0.8km	50	m ³			
整地 残土受け入れ地での処理	50	m ³			
盛土工					
流用土盛土					

工事数量総括表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	20	m3			
法面整形工					
法面整形(盛土部)					
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約無し レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	70	m2			
法面工					
作業土工					
床堀り					
	1	式			
埋戻し					
	1	式			
植生工					

工事数量総括表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生シート					
植生シート工 肥料袋無_標準品 [規]500m2未満	70	m2			
かご工					
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	40	m			
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	30	m			
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	24	m			
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	42	m			
流末水路工 第6号					

工事数量総括表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工					
床堀り					
埋戻し	1	式			
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	38	m			
暗渠排水管					
暗渠排水管 掘付 波状管及び網状管 200~400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	12	m			
集水柵工					

工事数量総括表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水柵					
ボックス W5×5 - D5型 砕石基礎	2	箇所			
ボックス W5×5 - D6型 砕石基礎	3	箇所			
蓋					
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m ² の群集荷重	5	箇所			
流末水路工 第7号					
作業土工					
床堀り					
埋戻し	1	式			
	1	式			

工事数量総括表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	53	m			
流末水路工 第8号					
作業土工					
床堀り					
埋戻し	1	式			
埋戻し	1	式			
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					

工事数量総括表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	6	m			
側溝蓋					
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	4	枚			
暗渠排水管					
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	2	m			
集水柵工					
集水柵					
ボックス W5×5 - D5型 碎石基礎	1	箇所			
蓋					

工事数量総括表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m2の群集荷重	1	箇所			
水抜ボーリング工 第6号					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 レキ質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	194	m			
ボーリング 地表 軟岩 φ90mm 削孔長50m/本以下	49	m			
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	225	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	18	m			

工事数量総括表

頁0-0016

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流末処理					
流末処理管 第6号水抜きボーリング工	1	式			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	2	回			
足場(地表) 平地	62	空m3			
水抜ボーリング工 第7号					
水抜ボーリング工					
流末処理					
流末処理管 第7号水抜きボーリング工	1	式			

工事数量総括表

頁0-0017

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地すべり防止 (8測線)					
土工		式			
掘削工					
土砂掘削					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	1	m ³			
掘削 土砂 現場制約あり	3	m ³			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	3	m ³			
機械(不整地運搬車)小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離150m未満	10	m ³			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	10	m ³			

工事数量総括表

頁0-0018

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運搬 (標準以外) 土砂 運搬距離0.8km	10	m ³			
整地 残土受け入れ地での処理	10	m ³			
盛土工					
流用土盛土					
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	1	m ³			
法面工					
かご工					
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	2	m			

工事数量総括表

頁0-0019

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
擁壁工					
作業土工					
床掘り					
埋戻し	1	式			
コンクリートブロック工	1	式			
コンクリートブロック基礎					
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石有り	0.5	m3			
コンクリートブロック積					
コンクリートブロック積工	8	m2			

工事数量総括表

頁0-0020

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
裏込材					
胴込・裏込材(砕石) 潤知・平・連筋・緑化ブロック RC-40	3	m3			
天端コンクリート					
天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.1	m3			
小口止コンクリート					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			
目地板 瀝青繊維質目地板t=10mm	2	m2			
流末水路工 12号					

工事数量総括表

頁0-0021

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工					
床掘り					
埋戻し	1	式			
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	42	m			
鉄筋コンクリートベンチフレーム					
U型側溝 U型側溝(各種) L=1000mm/本	0.9	m			
ポリエチレン製角型U字溝					

工事数量総括表

頁0-0022

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 U型側溝(各種) L=1000mm/本	5	m			
自由勾配側溝					
自由勾配側溝 300×400×2000	2	m			
側溝蓋					
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	49	枚			
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	1	枚			
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	2	枚			
集水柵工					
集水柵					

工事数量総括表

頁0-0025

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
孔口保護版					
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.04	m3			
型枠 一般型枠 小型構造物	0.32	m2			
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し (市場単価)					
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.7	m3			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.06	m3			
運搬処理工					

工事数量総括表

頁0-0026

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬					
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.7	m3			
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.06	m3			
殻処分					
処分費等 (直工分)					
処分費 無筋コンクリート	1.7	t			
処分費 鉄筋コンクリート	0.2	t			
地すべり防止 (9測線)		式			
土工					

工事数量総括表

頁0-0027

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削工					
土砂掘削					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	30	m3			
機械(不整地運搬車)小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離150m未満	40	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	40	m3			
ダンプトラック運搬(標準以外) 土砂 運搬距離0.8km	40	m3			
整地 残土受け入れ地での処理	40	m3			
盛土工					
流用土盛土					

工事数量総括表

頁0-0028

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	6	m3			
法面整形工					
法面整形(盛土部)					
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 砂及び砂質土、粘性土	3	m2			
法面工					
作業土工					
床堀り					
植生工	1	式			
植生シート					

工事数量総括表

頁0-0029

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生シート工 肥料袋無 標準品 [規]500m2未満	3	m2			
かご工					
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	36	m			
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	38	m			
流末水路工 13号					
作業土工					
床堀り	1	式			
埋戻し	1	式			

工事数量総括表

頁0-0030

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	30	m			
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	34	m			
側溝蓋					
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	36	枚			
暗渠排水管					
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	2	m			
集水櫛工					

工事数量総括表

頁0-0031

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水桝					
ボックス W5×5 - D5型 砕石基礎	3	箇所			
ボックス W5×5 - D6型 砕石基礎	1	箇所			
蓋					
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m ² の群集荷重	4	箇所			
暗渠工					
明暗渠工					
明暗渠					
明暗渠工	15	m			

工事数量総括表

頁0-0032

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜ボーリング工 第13号					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	322	m			
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	306	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	16	m			
流末処理					
流末処理管 第13号水抜きボーリング工	1	式			

工事数量総括表

頁0-0033

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 平地	6	空m3			
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
石積み撤去					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	6	m3			
コンクリート構造物取壊し(市場単価)					
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	6	m3			

工事数量総括表

頁0-0034

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬処理工					
石積み運搬					
機械(不整地運搬車)小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離150m未満	6	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	6	m3			
ダンプトラック運搬(標準以外) 土砂 運搬距離0.8km	6	m3			
殻運搬					
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	6	m3			
殻処分					
処分費等(直工分)					

工事数量総括表

頁0-0035

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 無筋コンクリート	13	t			
地すべり防止（2号排水路）		式			
土工					
掘削工					
土砂掘削					
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	20	m3			
機械（不整地運搬車）小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離150m未満	20	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	40	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.3km超)	40	m3			

工事数量総括表

頁0-0036

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地 敷均し(ルーズ) 狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	40	m3			
法面整形工					
法面整形（掘削部）					
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	30	m2			
法面工					
植生工					
植生マット					
植生マット工 [規]500m2未満	30	m2			
水路工					

工事数量総括表

頁0-0037

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工					
床掘り					
埋戻し	1	式			
排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	59	m			
排水溝 350×350型 350×350×1995mm	30	本			
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	6	m			
排水溝 450×450型 450×450×1995mm	3	本			

工事数量総括表

頁0-0038

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	52	m			
排水溝 500×500型 500×500×1995mm	26	本			
鉄筋コンクリートベンチフリューム					
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	14	m			
ベンチフリューム (II形) 600×380×2,000mm	7	本			
コルゲートフリューム					
コルゲートフリューム 据付 板厚2.0mm	28	m			
コルゲートフリューム 据付 板厚2.0mm	4	m			
側溝蓋					

工事数量総括表

頁0-0039

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蓋版 材料別途 40<重量≤170					
	9	枚			
鋼製グレーチング蓋 みぞ蓋800用 (T-14)					
	9	枚			
蓋版 材料別途 40<重量≤170					
	50	枚			
鋼製グレーチング蓋 みぞ蓋450用 (T-2)					
	50	枚			
蓋版 材料別途 40<重量≤170					
	16	枚			
ベンチフリューム蓋 2種 T-14 450型 L=50cm					
	16	枚			
管渠工					
管渠					
ヒューム管(B形管) 据付 管径500mm 固定基礎90° 巻き 基礎碎石有り 外圧管1種					
	1	m			

工事数量総括表

頁0-0040

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
踏査排水管 据付 波状管及び網状管 450~600mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径500mm					
	3	m			
集水櫛工					
集水櫛					
ボックス W8×8 - D8型 碎石基礎					
	4	箇所			
ボックス W8×8 - D11型 碎石基礎					
	1	箇所			
ボックス W8×8 - D14型 碎石基礎					
	3	箇所			
ボックス W8×8 - D15型 碎石基礎					
	1	箇所			
ボックス W10×10 - D20型 碎石基礎					
	1	箇所			
蓋					

工事数量総括表

頁0-0041

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボックス蓋 一般用 W8×8型 鋼板蓋 500kg/m2の群集荷重	9	箇所			
ボックス蓋 一般用 W10×10型 鋼板蓋 500kg/m2の群集荷重	1	箇所			
現場打水路工					
現場水路					
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	3	m2			
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			
型枠 一般型枠 小型構造物	12	m2			
道路復旧工					
アスファルト舗装工					

工事数量総括表

頁0-0042

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	3	m2			
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	3	m2			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し(市場単価)					
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	2	m3			

工事数量総括表

頁0-0043

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	4	m3			
舗装版切断					
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			
舗装版破砕					
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	7	m2			
運搬処理工					
殻運搬					
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	2	m3			
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	4	m3			

工事数量総括表

頁0-0044

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	0.3	m3			
殻処分					
処分費等(直工分)					
処分費 無筋コンクリート	4	t			
処分費 鉄筋コンクリート	9	t			
処分費 アスファルト	0.6	t			
仮設工					
工事用道路工					
工事用道路盛土	1	式			

工事数量総括表

頁0-0045

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安定シート・ネット	1	式			
水替工					
ポンプ排水	1	式			
仮水路工					
暗渠排水管	1	式			
地すべり防止（1号承排水路）		式			
土工					
掘削工					
土砂掘削					

工事数量総括表

頁0-0046

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	20	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	10	m3			
機械(不整地運搬車)小運搬 砂、砂利、栗石 運搬距離100m未満	30	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	30	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.3km超)	30	m3			
整地 敷均し(ルーズ) 狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	30	m3			
法面整形工					
法面整形(掘削部)					
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	30	m2			

工事数量総括表

頁0-0047

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工					
植生工					
植生マット					
植生マット工 [規]500m2未満	30	m2			
擁壁工					
作業土工					
床掘り					
埋戻し	1	式			
コンクリートブロック工	1	式			

工事数量総括表

頁0-0048

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートブロック基礎					
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石有り	0.5	m3			
コンクリートブロック積					
コンクリートブロック積工	10	m2			
裏込材					
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	4	m3			
天端コンクリート					
天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.1	m3			
小口止コンクリート					

工事数量総括表

頁0-0049

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m ³			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	10	m ²			
目地板 瀝青繊維質目地板t=10mm	2	m ²			
排水管復旧					
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 一般管VP 管長4m 一般用 管径 200mm	14	m			
排水路工 第1号					
作業土工					
床盛り	1	式			
埋戻し	1	式			

工事数量総括表

頁0-0050

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水路工					
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	2	m			
排水溝 350×350型 350×350×1995mm	1	本			
コルゲートフリューム					
コルゲートフリューム 据付 板厚2.0mm	44	m			
側溝蓋					
蓋版 材料別途 40<重量≤170	10	枚			
ベンチフリューム蓋 2種 T-14 400型 L=50cm	10	枚			

工事数量総括表

頁0-0051

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管渠工					
暗渠排水管					
暗渠排水管 掘付 波状管及び網状管 200~400mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径350mm	14	m			
集水機工					
集水機					
ボックス W5×5 - D6型 碎石基礎	1	箇所			
ボックス W5×5 - D8型 碎石基礎	1	箇所			
ボックス W5×5 - D10型 碎石基礎	2	箇所			
ボックス W8×8 - D14型 碎石基礎	1	箇所			

工事数量総括表

頁0-0052

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蓋					
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m2の群集荷重	4	箇所			
ボックス蓋 一般用 W8×8型 グレーチング蓋 500kg/m2の群集荷重	1	箇所			
承水路工 第1号					
作業土工					
床堀り	1	式			
埋戻し	1	式			
排水路工					
鉄筋コンクリートU形					

工事数量総括表

頁0-0053

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	12	m			
鉄筋コンクリートフリーム 径300mm・長1.995m	6	本			
コルゲートフリーム					
コルゲートフリーム 据付 コルゲートフリーム(各種)	7	m			
集水概工					
集水枳					
ボックス W5×5-D5型 砕石基礎	2	箇所			
蓋					
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m ² の群集荷重	2	箇所			

工事数量総括表

頁0-0054

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流末処理水路工 第4-1号					
作業土工					
床掘り					
埋戻し	1	式			
排水路工	1	式			
鉄筋コンクリートU形					
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	20	m			
鉄筋コンクリートフリーム 径200mm・長1.995m	10	本			
水抜ボーリング工					

工事数量総括表

頁0-0055

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜ボーリング工					
流末処理工					
流末処理管 第4-1号水抜きボーリング工	1	式			
道路復旧工					
アスファルト舗装工					
下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	7	m ²			
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	7	m ²			

工事数量総括表

頁0-0056

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	2	m ³			
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し(市場単価)					
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	3	m ³			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	2	m ³			
舗装版切断					
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			
舗装版破碎					

工事数量総括表

頁0-0057

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	7	m ²			
運搬処理工					
殻運搬					
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	3	m ³			
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	2	m ³			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	0.3	m ³			
処分分					
処分費等 (直工分)					
処分費 無筋コンクリート	7	t			

工事数量総括表

頁0-0058

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 鉄筋コンクリート	5	t			
処分費 アスファルト	0.8	t			
仮設工					
工事用道路工					
工事用道路盛土	1	式			
直接工事費					
準備費		1式			
試掘 S測線					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m ³			

工事数量総括表

頁0-0059

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 土砂 現場制約あり	1	m ³			
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め有り	1	m ³			
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	4	m			
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	1	m ²			
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間無し 運搬距離19.5km以下(13.5km超)	0.1	m ³			
処分費等 (準備費分)					
処分費 コンクリート舗装	0.2	t			
技術管理費		1式			
現場管理費・一般管理費非対象額					

工事数量総括表

頁0-0060

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地下水位観測・資料整理 施工前10日、施工後20日	1	式			
安全費		1式			
木製安全施設					
木製工事用標示板 (外枠) 供用日180~360日	2	台			
木製工事用看板 (外枠) 供用日180~360日	5	台			
木製工事用バリケード 供用日180~360日	10	台			
共通仮設費 (率分)		1式			
共通仮設費計					
純工事費					

工事数量総括表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費						
			1 式			
工事原価						
一般管理費等						
			1 式			
工事価格						
消費税及地方 消費税相当額						
			1 式			
工事費						
工事価格計						
消費税及地方 消費税相当額						
			1 式			
工事費計						

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費 (城川)					
地すべり防止					
擁壁工		式			
コンクリートブロック工					
コンクリートブロック積					
大型ブロック積 水抜きパイプ有り ブロック(各種)	12	m2			
胴込・裏込コンクリート 大型ブロック 18-8-40BB	11	m3			
裏込材					
胴込・裏込材(砕石) 大型ブロック RC-40	6	m3			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天端コンクリート					
天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	1	m3			
基礎コンクリート					
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石有り	1	m3			
小口止コンクリート					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3	m2			
目地板 瀝青繊維質目地板t=10mm	2	m2			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			

工事数量総括表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	2	m2			
目地板 瀝青繊維質目地板t=10mm	2	m2			
水路工					
承排水路工					
鉄筋コンクリートU形 U字フリューム					
U型側溝 U型側溝(各種) L=2000mm/本	2	m			
鉄筋コンクリートベンチフリューム					
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	8	m			
側溝蓋					

工事数量総括表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	16	枚			
集水櫛工					
集水櫛					
ボックス W5×5 - D5型 碎石基礎	1	箇所			
蓋					
ボックス蓋 一般用 W5×5型 グレーチング蓋 14t荷重	1	箇所			
蓋版 材料別途 40≧重量	1	枚			
道路復旧工					
アスファルト舗装工					

工事数量総括表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤(歩道部)					
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚180mm 1層施工 RC-40	4	m ²			
表層(歩道部)					
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	4	m ²			
コンクリート舗装工					
張コンクリート					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.7	m ³			
構造物撤去工					
構造物取壊し工					

工事数量総括表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート構造物取壊し(市場単価)					
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	8	m ³			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.3	m ³			
舗装版切断					
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	11	m			
舗装版破碎					
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	4	m ²			
運搬処理工					
殻運搬					

工事数量総括表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	8	m ³			
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.3	m ³			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	0.2	m ³			
殻処分					
処分費等(直工分)					
Co(無筋)処分費	19	t			
Co(鉄筋)処分費	0.8	t			
As 処分費	0.5	t			
地すべり防止 (県単地すべり対策事業)		式			

工事数量総括表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工					
掘削工					
土砂掘削					
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	50	m ³			
作業土工					
床盛り	1	式			
埋戻し	1	式			
盛土工					
流用土盛土					

工事数量総括表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	1	m3			
残土処理工					
作業残土処理					
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	6	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D10区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	50	m3			
処分費等(直工分)					
残土処分費	50	m3			
法面整形工					
法面整形(掘削部)					

工事数量総括表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	100	m2			
法面工					
植生工					
植生マット					
植生マット工 [規]500m2未満	100	m2			
水路工					
集水櫛工					
集水櫛					
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.02	m3			

工事数量総括表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
プレキャスト集水樹据付 150を超え500kg以下 50m以下	2			基						
暗渠工										
明暗渠工										
明暗渠										
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm NP有孔管 呼び径100(114×6.6)	2			m						
フィルター材 フィルター材(各種)	0.3			m3						
吸出し防止材設置 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	3			m2						
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径200mm	16			m						
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	3			m						

工事数量総括表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
落水口	1			箇所						
仮設工										
工事用道路工										
工事用道路盛土										
土のう	1			式						
防護施設工	1			式						
切土(発破)防護柵	1			式						
水替工										
明暗渠	1			式						

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費 (角谷)					
地すべり防止					
水抜ボーリング工 R3-1号		式			
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	10.4	m			
ボーリング 地表 レキ質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	36	m			
ボーリング 地表 軟岩 φ90mm 削孔長50m/本以下	43.9	m			
保孔管					

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	80	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	10	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 平地	252	空m3			
流末処理					
流末処理管 R3-1号水抜きボーリング工	1	式			
孔口保護工					
孔口保護版					

工事数量総括表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.15	m3			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			
床掘り 土砂 現場制約あり	0.15	m3			
水抜ボーリング工 R3-2号					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	49.1	m			
ボーリング 地表 レキ質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	8.1	m			
ボーリング 地表 軟岩 φ90mm 削孔長50m/本以下	18.8	m			

工事数量総括表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	76	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 傾斜地	72	空m3			
流末処理					
流末処理管 R3-1号水抜きボーリング工	1	式			
孔口保護工					
孔口保護版					

工事数量総括表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.15	m ³			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m ²			
床掘り 土砂 現場制約あり	0.15	m ³			
水抜ボーリング工 R3-3号					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	43.5	m			
ボーリング 地表 軟岩 φ90mm 削孔長50m/本以下	27.5	m			
保孔管					

工事数量総括表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	71	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 傾斜地	78	空m ³			
流末処理					
流末処理管 R3-3号水抜きボーリング工	1	式			
孔口保護工					
孔口保護版					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.15	m ³			

工事数量総括表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			
床掘り 土砂 現場制約あり	0.15	m3			
直接工事費					
技術管理費					
現場管理費・一般管理費非対象額		1 式			
地下水位観測・資料整理 施工前10日、施工後20日	1	式			
共通仮設費（ 率分）		1 式			
共通仮設費計					
純工事費					

工事数量総括表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費		1 式			
工事原価					
一般管理費等		1 式			
工事価格					
消費税及地方 消費税相当額		1 式			
工事費					
工事価格計					
消費税及地方 消費税相当額		1 式			
工事費計					

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費 (山寄)						
地すべり防止 R2-1測線			式			
水路工						
作業土工						
床堀り						
埋戻し	1		式			
承排水路工	1		式			
鉄筋コンクリートベンチフレーム						
I型側溝 鉄筋Coベンチフレーム (JIS_A_5372附6) 300[300×200×2000]	26		m			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
水路屈折部						
水路屈折部	1		箇所			
集水柵工						
集水柵						
ボックス W5×5 - D5型 碎石基礎	1		箇所			
蓋						
ボックス蓋 一般用 W5×5型 鋼板蓋 500kg/m2の群集荷重	1		箇所			
蓋版 材料別途 40≧重量	1		枚			
水抜ボーリング工						

工事数量総括表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	89	m			
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本を超え80m/本以下	217	m			
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	294	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	12	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			

工事数量総括表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流末処理管					
流末処理管	1	式			
孔口保護工					
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	30	m			
地すべり防止 R2-4測線		式			
土工					
掘削工					
土砂掘削					

工事数量総括表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	10	m ³			
整地 敷均し(ルーズ) 狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	10	m ³			
水抜ボーリング工 第4号水抜きボーリング工					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 削孔長50m/本以下	64	m			
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	56	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	8	m			

工事数量総括表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	1	回			
足場(地表) 平地	4	空m ³			
流末処理					
流末処理管	1	式			
孔口保護工					
作業土工	1	式			
ふとんかご					
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	18	m			

工事数量総括表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜ボーリング工 第5号水抜きボーリング工					
水抜ボーリング工					
水抜ボーリング					
ボーリング 地表 粘性土・砂質土 φ90mm 掘孔長50m/本以下	48	m			
保孔管					
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	40	m			
保孔管 地表 ストレーナ現場加工無し 保孔管(VP)(各種)	8	m			
ボーリングマシン設置撤去					
ボーリング仮設機材 地表	2	回			

工事数量総括表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場(地表) 傾斜地	23	空m3			
足場(地表) 平地	8	空m3			
流末処理					
流末処理管	1	式			
孔口保護工					
孔口保護版					
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.08	m3			
型枠 一般型枠 小型構造物	0.64	m2			
直接工事費					

工事数量総括表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						
現場管理費・一般管理費非対象額			1 式			
地下水観測・資料整理 施工前10日、施工後20日、2孔	1		式			
共通仮設費 (率分)			1 式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			1 式			
工事原価						
一般管理費等			1 式			

工事数量総括表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
消費税及地方消費税相当額			1 式			
工事費						
工事価格計						
消費税及地方消費税相当額			1 式			
工事費計						

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査業務費(一般)					
地すべり調査					
地下水調査					
水位計					
自記水位計設置		基			
自記式水位計設置	7	基			
自記水位計観測		孔・回			
自記水位計観測 観測期間 30日	7	基・回			
自記水位計資料整理		孔・月			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自記式水位計資料整理	7	ヵ月・孔			
直接調査費(直接経費以外)計		式			
施工管理費					
直接経費・間接調査費計					
直接調査費・間接調査費計					
諸経費					
諸経費等計					
業務価格					
消費税及地方 消費税相当額					

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査業務費(一般)					
地すべり調査					
地下水調査					
水位計					
自記水位計設置		基			
自記式水位計設置	3	基			
自記水位計観測		孔・回			
自記水位計観測 観測期間 30日	3	基・回			
自記水位計資料整理		孔・月			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自記式水位計資料整理	3	ヵ月・孔			
直接調査費(直接経費以外)計		式			
施工管理費					
直接経費・間接調査費計					
直接調査費・間接調査費計					
諸経費					
諸経費等計					
業務価格					
消費税及地方 消費税相当額					

工事数量総括表

頁0-0001

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査業務費(一般)					
地すべり調査					
地下水調査					
水位計					
自記水位計設置		基			
自記式水位計設置	2	基			
自記水位計観測		孔・回			
自記水位計観測 観測期間 30日	2	基・回			
自記水位計資料整理		孔・月			

工事数量総括表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自記式水位計資料整理	2	ヵ月・孔			
直接調査費(直接経費以外)計					
施工管理費		式			
直接経費・間接調査費計					
直接調査費・間接調査費計					
諸経費					
諸経費等計					
業務価格					
消費税及地方 消費税相当額					

